

2022 J3 ■順位表 ■第14節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

注：\*印は消化試合が数字分少ない

1	鹿児島	29p	+14	24	10	HO
2	いわき	28p	+16	28	12	
3	松本	28p	+10	23	13	H●
4	富山	28p	+6	22	16	AO
5	岐阜	24p	+9	25	16	---
6	藤枝	23p	+9	25	16	A●
7	愛媛	22p	0	16	16	HO
8	今治	21p	-1	12	13	
9	福島	20p	+3	15	12	AO
10	長野	20p	0	15	15	A△
11	宮崎	18p	+1	16	15	AO
12	沼津	17p	-2	14	16	A●
13	北九州	14p	-5	13	18	
14	相模原	14p	-6	14	20	HO
15	讃岐	14p	-6	12	18	A●
16	八戸	13p	-11	10	21	H△
17	鳥取	12p	-10	15	25	HO
18	YS横浜	5p	-27	5	32	A△

次回HomeGame

第16節 vs.いわきFC

7/10(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

今日もここから  
串かつで一杯

煮込み 珍道中

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
通り

JR 岐阜駅  
北口より  
北西方面へ  
徒歩約10分

★  
アマカ

ドミ  
イン

JR  
岐阜駅

today's guest : FC今治

2021 J3 7勝9分12敗 勝ち点30:11位

直近の対決と結果

2021/10/02  
J3 - 21節@長良川

岐阜 2-1 今治

川西翔太x2 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜

2022/06/26 J3 - 14節@ユニスタ  
宮崎 1-4 岐阜

2022/06/18 J3 - 13節@とうスタ  
福島 0-1 岐阜

2022/06/12 J3 - 12節@長良川  
岐阜 2-1 鹿児島

FC今治

2022/06/26 J3 - 14節@夢スタ  
今治 0-0 沼津

2022/06/19 J3 - 13節@藤枝サ  
藤枝 1-2 今治

2022/06/12 J3 - 12節@夢スタ  
今治 1-3 相模原

●横山監督体制下で心機一転、勝利・勝点を積み上げて『J3優勝・J2復帰』の目標に再び挑戦し続けるFC岐阜。6/12(日)第12節・ホーム鹿児島戦は、首位・鹿児島を相手に倍以上のシュートを撃たれながらも2-1で勝利。優勝戦線に食らいつく姿勢を見せることができた。続く6/18(土)第13節・アウェイ福島戦では、前半にセットプレーで先制した岐阜だったが、後半は福島の猛攻を浴びる。だが我慢強く守り切って1-0で勝利し、上位対決を制した。そして6/26(日)第14節・アウェイ宮崎戦は、先制されるが前半終了間際に岐阜が追いつく。そして後半には一気呵成に3ゴールを挙げて4-1で勝利。FC岐阜は今季初の3連勝、そしてチーム史上初のJリーグ7試合無敗記録を達成した。

この3連勝で、順位を10位から5位にまで上げたFC岐阜は、第14節に首位・鹿児島と2位・いわきが揃って負けたこともあり、勝点差は鹿児島とで5、いわきとで4、つまり2試合で追いつくことも可能な位置に届いた。ただし逆に『3連勝して、やっとここまで勝点差を縮めることができた』と言うこともできる。現在のFC岐阜は、上位4チームの混戦から少し離れた第2グループの先頭で、10位・長野までは勝点差4。つまり、ここから先頭集団に追いつくには、さらに勝利を積み上げ続ける必要があるし、少しでも油断すれば一気に順位が下がるという状況だ。そして直近7試合5勝2分という成績は確かに見事だが、今季の岐阜の1試合平均勝点は1.7。つまり、トータルでは“2.0”の目標にまだ到達していない。今シーズンは残り20試合。今節からの対戦相手は、順に今治・いわき・北九州で一巡し、いよいよJ3リーグは後半戦に突入する。まだ焦る残り試合数ではないが、毎試合、どんな試合内容でも勝つことに拘り続け、全員で目標達成に向けて、今後も“新化”し続けることが必要だ。

さて、今節の対戦相手は先述したFC今治。J3参入2年目の昨季は2度の監督交代を経て11位。今季は昨年9月に就任した橋川和晃監督が継続して指揮を執り、現在の順位は8位。直近5試合で2勝1分2敗と、コンスタントに成績を残している中位チームだ。今治との対戦成績は、岐阜の2勝1分1敗・5得点6失点。昨季のアウェイ6/20(日)第12節では、試合開始直後に#42 柏木陽介が負傷交替したことも影響したのか0-3で惨敗。10/2(土)第21節・ホーム戦は、先制するもPKで追いつかれ、後半ATに決勝点を挙げて2-1で勝利。簡単な対戦相手など存在しないと肝に銘じつつ、しかし今節は4連勝を達成する必要がある。今治の要注意選手には、まずは現在4得点の#14 中川風希を挙げる。ただし、直近5試合では#5 安藤智哉がセットプレーで2得点を決めており、こちらの対応も重要になるだろう。そして、2018年に京都から期限付きで岐阜に在籍した#8 鳥村拓弥は古巣対戦に燃えているだろうが、活躍させる訳にはいかない。

また6/14(火)には、岐阜にJ2・水戸から#3 三國ステビアエブス選手が育成型期限付き移籍にて加入することが発表された。#26 小山新とは青森山田中・青森山田高でチームメイトであり、共に2016年高校選手権での初優勝スタメンだ。既に宮崎戦で出場しており、今後もさらなる活躍に期待したい。

先日、岐阜県を含めて東海地方は、観測史上最短かつ過去2番目に早い梅雨明けを迎えた。そして、岐阜の選手たちを悩ませている猛暑が、今季は早々にやってくる。今節もナイターとはいえ、選手たちの消耗が激しく厳しい試合になることだろう。だからこそ、僕らFC岐阜サポーターはホームの利を活かして、岐阜の選手たちが最後まで走り抜き、戦い抜くことができるよう、その背中を押し続ける応援をしよう。僕ら自身も十分に熱中症に注意しながら、大きな拍手や鳴り物でスタジアム全体に岐阜のリズムを作り出し、選手入場時にはゲーフラを掲げ、旗やタオマフなどを振ってスタジアムを緑色に染め、勝利を掴むために選手たちと共に最後まで戦い続けよう。そして4連勝を達成し、勝利の“万歳4唱”で選手と歓喜を分かち合おう。(ささたく)

投稿募集!! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第12節】岐阜 2-1 鹿児島

●首位鹿児島相手の大事な一戦。厳しい戦いではあったが、勝ち点3をもぎ取ることができて本当に良かった。この試合を取るとい選手達の気魄をいつも以上に感じられたような気がした。ここに来て皆が同じベクトルを向けることができるようになってきたのかな。

庄司悦大、宇賀神友弥のゴールも素晴らしかったが、この試合で3バックの中央を務めた小山新を功労者に挙げておきたい。クレバーな守備と時折見せた正確なロングフィードでチャンスを出すなど、怪我人の多いDF陣の中でいい働きを見せてくれていたと思う。

そして青森山田高校でチームメイトだった、三國ステビアエプスの期限付き移籍加入も発表された。若い力で後ろからチームを盛り立てて行ってほしいね。

今年一番の観客数の中で勝てたことは、普段サッカー見る機会がなかった方々に対しても良いアピールになったのではなからうか。これから上位陣とアウェーでの対戦が続くが、しっかり準備をして臨んでもらいたいところ。(岐阜の誇り)

●首位・鹿児島との直接対決。『J3優勝・J2復帰』という目標のためには、これ以上は勝ち点を離される訳にはいかない。そして『岐阜市民総力戦』と銘打たれた、大勢の無料招待客の来場が予定されている試合。さらに付け加えるなら、録画中継でTV放送もされるから注目される試合。絶対に負ける訳にはいかない、本当に重要な一戦。

さて岐阜のスタメンは、引き分けてしまった八戸戦の反省からか、4人を入れ替え。特にDF陣3枚を総入れ替えするなど、戦術の修正をしてきたと思う。それと、(良くも悪くも)首位・鹿児島を相手にして気持ちが入っていて、普段以上に岐阜の選手たちのパフォーマンスが上がっていたように感じた。互いに激しくプレスをかけてボールを奪おうとする選手たち。しかし互いにシュートを放ちながらもゴールを奪えないまま前半が終了し、後半になってようやく試合が動く。後半16分、鹿児島ゴール前での混戦で目の前に溢れてきたボールを、#10庄司悦大が左足で振り抜いて先制点！そうそう、綺麗に相手DFを崩してからじゃなくても、そうやって足をしっかり振れば良いんだよ！(歓喜)しかしまあ、しっかり足を振る成功体験というのは、首位チームの方にこそ多い訳で。圧力を増して岐阜のゴールに迫ってくる鹿児島の攻撃陣。耐えていた岐阜の守備陣だったが、後半70分に右サイドを突破されて同点に追いつかれてしまう。だけど、勝利を諦めない岐阜は、選手交代で入ったばかりの#16富樫佑太が右にボールをはたくと、#8窪田稜がサイドを突破してクロス。そこに走り込んできた#30宇賀神友弥がダイレクトボレーを撃つと、伸ばした相手GKの手を弾いてゴール！結局、これが決勝点となって首位・鹿児島を撃破。この貴重な勝利で、J3優勝戦線に、何とか踏みとどまった形になったと思う。

いろいろと『よかった』尽くしの試合だったけれど、試合展開も、先制→同点→決勝点と盛り上がる得失点の流れだったし、天候も良かった。今後もホームでは必ず勝って、このような流れを続けて欲しいし、続けていけば、自ずと遠かった目標が近づいてくることだろう。(ささたく)

●いや〜、キツかったね。さすがは首位・鹿児島さん。姉妹県の姉だけのことはあるね。自分で書いてて、よくわからんけどね。勝ててよかったけど、それでも、相手が首位だろうと、どれほど強かろうと、勝たなきゃ上へは行けないからね。それにしても、30番。イイところにいるなあ〜。クボタンにパスが通る……とわかった時からスルスルッとゴール前逆サイドに進入していったよね。見えてる……って感覚なのかな？名前通り、『神』がかつてるのかもしれない(笑)。10番もウチへ復帰後の初ゴール、おめでとう！とはいえ、アナタにはもっと、もっと、やっていたかなければならないんで。まだまだ、こんなもんじゃありませんよね？お願いしますよ……と、まあ、全体的にはかなりのラッキーにも恵まれての1点

差勝ち。それでも、今のウチにとっては、何が何でも必要な勝ち点3だった。

それでも、あえて、苦言を呈するなら、前半の内に点を取っておきなさいよ、と。チャンスは何度もあったんだけどね。そこらへんの甘さ？が、試合をいっそう厳しいものにしたような気がする。あ、あと、よくぞ、何回かの決定機を防いでくれました。ありがとう！マツタクさん！

そういえば、『岐阜市の日』、ホームタウン・デーやら、市民総力戦やらと銘打った試合に勝つのが初めてじゃね？と思ったら、昨季の長野戦で勝ってたよ(苦笑)。でも、ず〜っと、結果が出せてなかったからね。そんな勘違いをするのもしかたないよね？それを払拭するためにも、来季以降も勝ち続けてもらいたい。無茶を承知でお願いします！(ぐん)

●なんで勝てたのかな(笑)。でも、勝利の悦びに浸りながらも「なぜ勝てたのかわからねえ……」ってアタマを抱えるような展開ではなかった、のは確か。そりゃ鹿児島に「そこで外すう？」なシーン(笑)もあったけどね。

柏木&庄司のダブルボランチなスタメンを見たときは、どうしても前監督のサッカーと結びつけて「うわ、これは3-2で勝つか0-2で負けるかだ」と思ったけど、始まってみると庄司が後ろでかなり頑張っていた。先制ゴールまで決めてくれたし。

宇賀神の決勝ゴールは見事だったけど、その前の窪ちゃんのクロス。おそらく本人はスタメンで出たいだろうなあとは思うけど、現在のところ後半からの投入が一番有効だと思うんだ。すまん窪ちゃん、そこら辺のチーム事情を理解して、完全移籍してきてくれ(笑)。(吉田铸造)

## 【第13節】福島 0-1 岐阜

●福島のホーム・とうスタに、今季から照明設備が建設されたということで、初のナイターゲーム。たぶん、何かトラブルがあっても大丈夫(?)のように、夕方からの試合に。しかし東北とはいえ、この時期はすっかり暑いですね……。

さてスタメンは鹿児島戦と同じ。まあ首位チームに勝ったんだから当然なんです。そして互いに出方を探るかのような流れに。少し岐阜の方が有利になりかけた前半33分、CKを#10庄司悦大がショートにして#42柏木陽介に渡し、軌道が変わったボールを#23大西遼太郎が合わせて先制点！……

と、前半はよかった。しかしHTに修正が奏功したのは追いつける福島。そりゃ確かに、開幕直後は首位、少し前(第9節)までは2位にいたチームですからねえ…。逆に岐阜は、後半からの選手交代が上手くいかなかったのか、それとも気持的に守りに入ってしまったのかもしれない。攻勢をかける福島に対して受ける形になってしまい、ボールを奪って攻撃に転じようとしても、なんだか敵陣に上手くボールが運ばず、再び福島の攻撃を許す…という展開に。とはいえ、粘り強い岐阜の守備や、あるいは福島の決定機のミスにも助けられて(苦笑)、ゴールネットは揺らされないまま、ゆっくりリジリジリと時間は過ぎてゆく。もしも、これで相手メンバーに#40樋口寛規がいたらと思うと…(溜息)。最近ベンチ入りもしてないけど、怪我してるのかな？ウチにとっては助かった要因の一つかも。そして、ようやく試合終了の笛。なんとか勝てた。試合内容は良くなくとも、勝ち切ることは何よりも重要だ。チーム全体で反省点を洗い出して改善して欲しい。

ところで初ナイター、真新しい照明のはずなのに少し暗いな…って感じてたら、試合終了後にフル点灯？めっちゃ明るいじゃん！それと、帰りの導線の照明が足りなくて、僕は迷子になりかけました(苦笑)。これもまた、アウェイの洗礼というか醍醐味というか。そしてアウェイの醍醐味といえば、アウェイツーリズム(アウェイ遠征とセットでの観光)もありまして(笑)。新幹線では当日中に岐阜に帰れないのが分かっていたので、今回は(福島支援も兼ねて)福島のクラブ事務所もある飯坂温泉で宿泊。熱いので有名な温泉(露天風呂)

でゆっくりと疲れを癒やし、勝ったから財布の紐がユルユルで（苦笑）、お土産をしっかりと買って、翌日に岐阜に帰ったのでした。アウェイ遠征には、こういう楽しみ方もあります。負けると最悪ですが（苦笑）、勝った後は格別です。まだ経験されていない方は是非どうぞ！（ささたく）

●いや～、疲れた。スタンドで座って観てるだけなのに疲れた。というより、冷や汗かいたし、胃にも心臓にもキツかった。特に後半は、いつ、やられるか、いつ、取られるのか……と。特に、後半40分頃だったかのポスト直撃弾。流れを見て、「あ、ヤバい……。あ、やられる！」と覚悟したシュートだった。アレがなんで決まらなかったのか？未だにわからない。神様のご加護、かな？

それにしても、ホント、よく粘ってくれた。よくぞ、耐え切ってくれました。セット・プレーからの1点が決勝点。ショート・コーナーから脚で決めたゴール。頭ではなくて脚、というのが素晴らしい。準備してきたプレーなのかな？よく、落ち着いて決めてくれました>遼太郎！

こういう試合をモノにできるって大事だよ。これで上位相手に連勝。まだまだ、昇格圏内には手が届かないけど、粘り強く喰らいついでいこう。それから、フレイレも復帰、オメ！待ってたよ～、頼りにしてるからね！！

あ、自分にとって初訪問の【とうみん】こと、とうほうみんなのスタジアム。広い、広すぎる……。長良川の何倍だ？夏の17時キックオフだったからよかったけど、19時キックオフだったら、迷子になってバス乗り場までたどり着けなかったかもしれない。さらに、シャトルバスの運賃は片道600円。定額タクシーは4,000円。あと、スタグルの【ユナイテッド・カレー焼きそば】。焼きそばが冷めてるのはしかたないとして、せめて、カレーぐらいは温めてほしかったよ。カレーパンとかならともかくさ（苦笑）なんというか、ぜんっぜん、ユナイテッドしてなかったよ？浜通りと中通りか？くらいにさ……。 (ぐん)

## 【第14節】宮崎1-4岐阜

●昨年はJ2昇格の最後の望みを抱えて3-4で敗れ、絶望と共に帰ったアウェイの地・宮崎。今年こそは、連敗中の宮崎を倒してリベンジを…と再び乗り込んだユニスタ。しかし、とにかく暑い。昨季は11月中旬、今季は6月下旬。そして照明が無いからデーゲーム。僕は若干、脱水症状&熱中症になりかけました（苦笑）が、チームも暑さに慣れなかったのか、試合開始から動きが鈍い…というか、意図した場所にボールが繋がっていないような感じに。前線の選手に直接ボールを送り込むんだけど、宮崎に跳ね返されセカンドボールを拾われて…のパターンにも見えた。一方の宮崎はボールを奪ったらシンプルに縦に運んで繋げて。その波状攻撃で前半早々に失点。ああやって連続してシュート撃ってけば、そりゃブロック崩されるよねえ…（溜息）。その後もどうにも動きの鈍い岐阜だったけれど、前半ATのCKを#38藤岡浩介がヘッドで押し込んで同点！そして前半終了の笛。この1プレーが非常に大きかった。後半になると、猛暑→遠くの外で稲光が見える天候になり、急に涼しくなってくる。すると、HTに修正したのか前半は“死んだふり”してたのか、あるいは本当にバテてたのか（苦笑）、岐阜の動きが急に良くなる。両サイドでボールが縦に繋がるようになり、ゴールに迫れるようになって来ると、後半61分にゴール前に飛び込んできた#30宇賀神友弥のダイレクトボレーで逆転！これで勢いに乗った岐阜は、#15TJの迫力あるボレーが弾かれたところに詰めていた#38藤岡の2点目！いやー、あーゆーところに待っている#38プリンス藤岡、まさにストライカーの嗅覚ですわ。その直後に岐阜は守備固めに入ったハズなんだけど、何故か4点目が入ってしまい（笑）。#39畑潤基が悔しがってたからオフサイド採られたのかと最初勘違いしたけど、オウンゴールだったからなのね（苦笑）。ずっと遠くの外に稲光が見えてた

から、試合の中断が最後まで心配だったけれど、その後は失点を許すことなく、4-1での勝利。いやー3連勝なんて何年ぶり？って思ったんだけど、昨季の序盤に達成してるんですね（苦笑）。そーいや“月間優秀監督”受賞とかありましたわ…その後の悪夢的な展開で、すっかり忘れてましたわ（苦笑）。昨年は絶望に包まれながら歩いた日向新富駅までの道程を、今年は歓喜と共に歩く。昨年と同様に、帰りの飛行機はチームと同じだったけれど、終始にこやかに過ごせる（苦笑）。でも、まだまだこれから。今季はもっともっと、歓喜と共にホームに帰る遠征がしたいんです！（ささたく）

●最大の勝因は、なんといっても『前半を最小失点で凌げたこと。』でしょうね。次点が『前半のうちに追いついたこと。』かと。MVPは藤岡だとか、3点に絡んだ陽介でしょ？とか、いろいろと思いは巡るけれども、やっぱりね。それほど、前半の宮崎のかけりっぷりはすごかった。ウチが開始から1分も経ずしてシュートを撃った以降は、ずーっと、宮崎のターン。サイドを挟まれるのは仕方ないとしても、何度となく裏を取られたし、あまつさえ、ウチの最終ラインよりも宮崎の攻撃陣の方がたくさんいる…と感じた場面もあったし。その勢いが、工藤の先制ゴールを押し込んだようにも思えたよ。マツタクが精一杯カラダを張ってくれたけど防げなかったくらいの勢いを感じた。狙い？としては少なくともリードして、あわよくば、2、3点取って前半を終えたかった感じかな？ここ数試合、内容は悪くないのに結果が出せてないという現状と当日のコンディション、ウチのメンバーの状況を見たら、そういう考えが出てきてもおかしくない。で、その分、後半に燃料切れになってしまったのかな？ウチ的にはほとんど変わりが無いのに、宮崎が大失速してしまったようにも見えた。

ただ、ウチには陽介がいたし、宇賀神がいたし、何より藤岡浩介がいた。あ、ボク的にはTJの貢献度も高かった。同点にした場面は、落とされたというよりシュートだったと思うけど、藤岡の位置取りが素晴らしかった。前節の福島戦に続き、なんだか、セットプレーでフリーになれる選手が出てきたね。是非とも、得点パターンにしてほしい。

それにしても、宇賀神の勝ち越しゴール……。現場で目の当たりに出来た人、うらやましい……。今季のベスト・ゴールへのノミネート確実なジャンピング・ボレー。ホント、うらやましいゾ、現地組。鹿児島戦といい、こういうところはさすがというか、抜け目がないというか。今後も、30番から目が離せませんね。ゼイタクを言えば、ヘニキの、あのアウトサイドが、そのまま決まったらな。ゼイタクだろうな（笑）。エブスもJ3デビュー、おめでとう！期待してます！！（ぐん）

## 監督交代から7試合。

●横山・新監督就任時に「昇格には7試合を5勝1分1敗のハイペースが必要だけど、それがミッションだから」と書いた。で、この7試合は5勝2分。合格点以上です。素晴らしい。先日のNHK『まるっと！ぎふ』で監督のインタビューが放送されたけど、「戦術も大事だけど、それよりは『勝つサッカーをする』ということ」と話していて、それを仰いますか横山監督（笑）と殺虫剤スプレーの直撃を受けたゴ●●リのようにひっくり返って床でピクピクしてしまいました（比喩）。監督就任の際にも「どこが問題なのかはわかっている」とも仰っていたけど、そこまで話しますか（笑）。よほど、前任者のサッカーについて思うところがあったんだろうなあ（笑）。あと20試合、やはり「昇格には7試合を5勝1分1敗ペースが必要」はそんなに変わっていないような気がする。競馬で言うとゲートで遅れてしかも躓いてみたいレース展開で、まだ5馬身差が2馬身差になった程度。緩めず、着実に差を詰めていってほしい。（吉田铸造）